

先生各位

## 検査実施料に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
この度、2021年(令和3年)12月10日付け厚生労働省保険局医療課長の通知「保医発1210第1号」により、下記の検査項目の一部変更が通知されましたので、下記の通りご案内いたします。  
謹白

記

- 適用日 2021年(令和3年)12月31日から適用
- 保険収載内容 一部変更項目

項目名	保険点数	
SARS-CoV-2 抗原検出	定性	300点
	定量	560点
SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出	定性	420点
SARS-CoV-2 核酸検出	検査委託 ※	1350点
	検査委託以外	700点
SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出	検査委託 ※	1350点
	検査委託以外	700点

※ SARS-CoV-2核酸検出(検査委託)およびSARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出(検査委託)については、感染状況や医療機関での実施状況を踏まえた上で、2022年(令和4年)4月1日に再度見直しを行い、700点となる予定。

詳細は裏面をご参照ください。

● 詳細内容 太字下線部分が変更されました。

検査項目	保険点数	判断料	診療報酬 点数表区分	備 考
SARS-CoV-2 抗原検出 (定性)	300点 (150点 ×2回分)	免疫学的 検査 判断料 (144点)	「D012」 感染症 免疫学的 検査 の「25」	<u>SARS-CoV-2 (新型コロナウイルスをいう。以下同じ。) 抗原検出 (定性・定量)</u> <u>SARS-CoV-2抗原検出 (定性)</u> は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS-CoV-2抗原の検出 (COVID-19 (新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。)) の診断又は診断の補助) を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として行った場合に限り、「25」マイコプラズマ抗原定性 (免疫クロマト法) の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を1回に限り算定する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合は、上記のように合算した点数をさらに1回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 <b>なお、SARS-CoV-2抗原検出 (定性) を実施した場合、SARS-CoV-2抗原検出 (定量) については、別に算定できない。</b>
SARS-CoV-2 抗原検出 (定量)	560点 (280点 ×2回分)	免疫学的 検査 判断料 (144点)	「D012」 感染症 免疫学的 検査 の「46」	<u>SARS-CoV-2抗原検出 (定量)</u> は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、 <u>SARS-CoV-2抗原の検出 (COVID-19の診断又は診断の補助)</u> を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として化学発光酵素免疫測定法 (定量) 又は電気化学発光免疫測定法 (定量) によるSARS-CoV-2抗原検出 (定量) を行った場合に限り、「46」HIV-1抗体 (ウエスタンブロット法) の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、 <u>診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を1回に限り算定する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合は、上記のように合算した点数をさらに1回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。上記に加え、COVID-19の治療を目的として入院している者に対し、退院可能かどうかの判断を目的として本検査を実施した場合は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律</u> における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて (一部改正) (令和3年2月25日健感発0225第1号) の「第1退院に関する基準」に基づいて実施した場合に限り、1回の検査につき上記のように合算した点数を算定する。なお、検査を実施した日時及びその結果を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 <b>なお、SARS-CoV-2抗原検出 (定量) を実施した場合、SARS-CoV-2抗原検出 (定性) については、別に算定できない。</b>
SARS-CoV-2・ インフルエンザ ウイルス 抗原同時 検出 (定性)	420点 (210点 ×2回分)	免疫学的 検査 判断料 (144点)	「D012」 感染症 免疫学的 検査 の「39」	SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出 (定性) は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS-CoV-2抗原及びインフルエンザウイルス抗原の検出を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として行った場合に限り、「39」 <u>単純ヘルペスウイルス抗原定性 (角膜) の所定点数2回分</u> を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。 ～ (略) ～ なお、SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出 (定性) を実施した場合、本区分「22」のインフルエンザウイルス抗原定性、 <u>SARS-CoV-2抗原検出 (定性) 及びSARS-CoV-2抗原検出 (定量)</u> については、別に算定できない。
SARS-CoV-2 核酸検出	検査委託 : 1350点 (450点 ×3回分) 検査委託 以外 : 700点 (350点 ×2回分)	微生物学的 検査 判断料 (150点)	「D023」 微生物 核酸同定 ・定量検 査の 「14」 または 「9」	～ (略) ～ 採取した検体を、国立感染症研究所が作成した「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス2013-2014 版」に記載されたカテゴリ-Bの感染性物質の規定に従って、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、本区分の「14」SARSコロナウイルス核酸検出の所定点数3回分を合算した点数を準用して算定し、それ以外の場合は、 <b>本区分の「9」HCV核酸検出の所定点数2回分</b> を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、検査を実施した施設名を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 ～ (略) ～
SARS-CoV-2・ インフル エンザ 核酸同時 検出	検査委託 : 1350点 (450点 ×3回分) 検査委託 以外 : 700点 (350点 ×2回分)	微生物学的 検査 判断料 (150点)	「D023」 微生物 核酸同定 ・定量検 査の 「14」 または 「9」	COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、SARS-CoV-2及びインフルエンザウイルスの核酸検出を目的として薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、PCR法 (定性) により、唾液、鼻咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液中のSARS-CoV-2及びインフルエンザウイルスの核酸検出 (以下、「SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出」という。) を同時に行った場合、採取した検体を、国立感染症研究所が作成した「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス2013-2014 版」に記載されたカテゴリ-Bの感染性物質の規定に従って、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、本区分の「14」SARSコロナウイルス核酸検出の所定点数3回分を合算した点数を準用して算定し、それ以外の場合は、 <b>本区分の「9」HCV核酸検出の所定点数2回分</b> を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、検査を実施した施設名を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 ～ (略) ～